

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	肺腺癌における REV7 発現と臨床病理学的因子、予後との関連の解析 (B21-077)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部病理学 教授 村雲 芳樹
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	DNA は、放射線、化学物質などの様々な要因により絶えず損傷を受けていますが、DNA の破綻は、腫瘍の発生・進展にも直結しています。DNA 損傷時、DNA 合成が停止し、細胞が死んでしまう一方で、DNA 合成を維持して細胞が生き続けるようにするシステムも存在しています。REV7 は、様々な蛋白と複合体を形成し、上記のシステムに関係しており、発癌に関与していることが知られています。 しかし、肺腺癌における REV7 蛋白発現や、その予後への影響に関しては未だ明らかにされていないため、検討したいと考えています。
調査データ 該当期間	2011 年 1 月 1 日から 2030 年 3 月 30 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2011 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に当院において、 外科手術で切除された肺癌検体のうち、病理組織学的に肺腺癌と確定診断された患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2011 年 1 月 1 日から 2011 年 1 月 1 日～2030 年 3 月 30 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。また、肺の手術検体を REV7 の追加染色を行い、病理学的に評価します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の資金源は医学部病理学村雲単位の一般研究費を使用します。 本研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんが、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

	所属・職位：医学部呼吸器外科・医師 担当者：林 祥子（ハヤシ ショウコ） 電 話：042-778-8111
備 考	